地上デジタルチューナー
AN-T004 取付説明書

安全上のご注意

●安全のため、取り付け・結線作業の前に以下のご注意とこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
●お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	⚠注 意
この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

作業をはじめる前に

⚠警 告

●取り付ける車のバッテリー電圧を確認する…
本機はDC12V車載用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
●配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

構成部品

1. 本体関係

2. フィルムアンテナ関係

取り付け場所について

⚠警 告

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
●本機を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

⚠注 意

●雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…
本機に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。
●振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…
はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。
●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本機の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…
本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けの注意

⚠注 意

●必ず付属の部品を指定通り使用する…
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。
●車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない…
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。
●車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける…
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

結線の注意

⚠警 告

●コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
●接続コード類は配線は、高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
●エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。

⚠注 意

●正規の接続をする…
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。
●コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
●車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

B-CASカードの挿入

1. B-CASカードについて

●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。

2. B-CASカードの入れかた

Ⅰ．エンジンを切り、ACCオフにしてください。
Ⅱ．本体裏側のフタをはずし、B-CASカードを指定の方向に一番奥まで挿入してください。（B-CASカードは図のように矢印が書いてあるほうを上にしてください。）
Ⅲ．B-CASカードをきちんと挿入した後フタを元通りに閉じてください。

※B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

フィルムアンテナ貼り付けについて

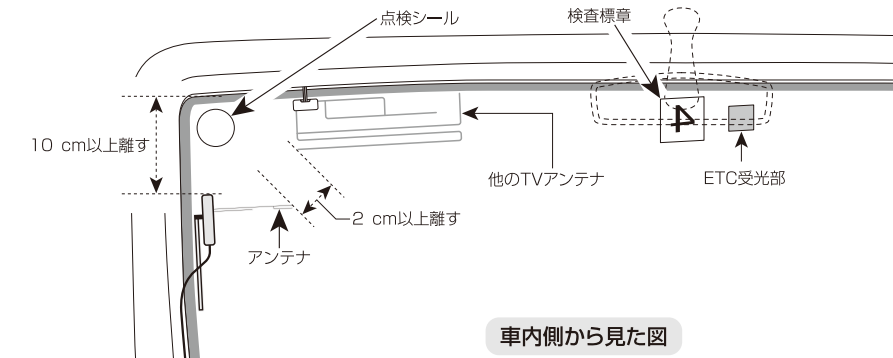
1. 貼り付け上のご注意

●保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第４項第６号に対する、平成15年９月26日付けの運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
●車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
●アンテナはフロントウインドウに貼り付ける専用です。フロントウインドウ以外の場所には貼り付けないでください。
●車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店にご相談してください。
●熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げの販売店に確認してください。
●必ず車内の貼り付け場所に市販のテープなどでいったんフィルムアンテナを仮止めして、お使いのラジオやテレビにノイズなどが入らないか確認してください。ノイズが入る場合はフィルムアンテナの位置を調節してください。
●フィルムアンテナの透明フィルムやアンプのウラシートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでｋださい。
静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
●ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
●必ずフロントウインドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
●フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
●作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
●気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから作業を行ってください。
●フロントウインドウにTVダイバーシティ・FM多重用フィルムアンテナなどをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから２ cm以上程離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談してください。
●一度貼り付けてからはがすと粘着力が弱くなるので、貼り直しできませんので、必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

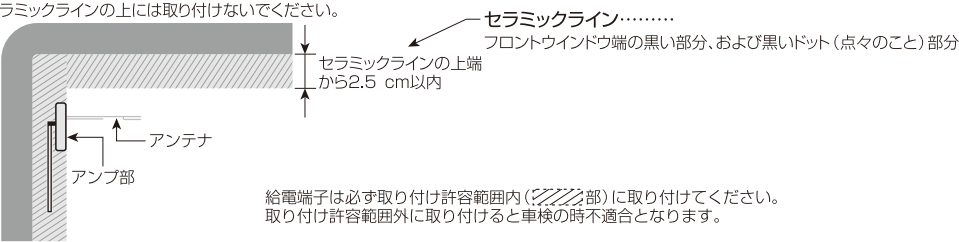
次のような場所では映りにくいことがあります

●ビルとビルの間。
●送電線が近くにある場所。
●放送局から遠い場所。
●山かげや木立のかげになる場所。
●上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所。
●自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所。
●ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所。

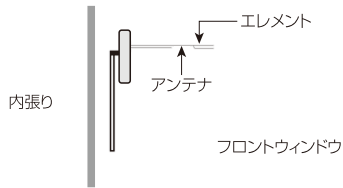
フィルムアンテナ貼り付けについて

2. フィルムアンテナ貼り付け位置

■ナビゲーションTVアンテナ・FM多重アンテナがない場合
- ●ウィンドの上すみから左右・上下とも10 cmはなれた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。
- ●ナビゲーションTVアンテナ・FM多重アンテナが貼ってある場合は左図の様に貼り付けてください。

3. 貼り付け許容範囲について

セラミックラインの上には取り付けないでください。

フィルムアンテナ貼り付け

1. フィルムの仮位置を決める

- ●フィルムアンテナ貼り付け位置、取り付け許容範囲について参照して仮位置を決めてください。
- ●フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）にアンプが当たらないように仮位置を決めます。

2. 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す

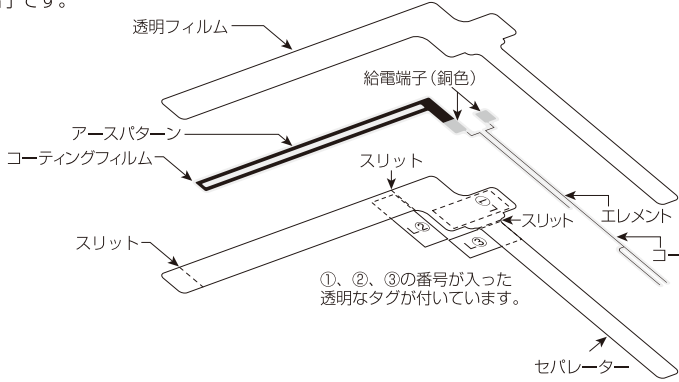
- ●コードを引き回す仮位置を決める

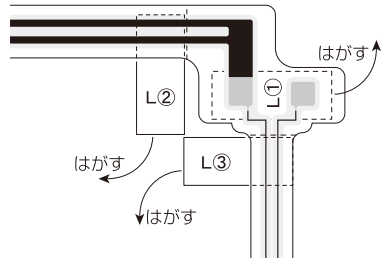
3. フロントウインド内側の汚れ、油などを取り除く

- ●フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを付属のクリーナーで取り除いてください。

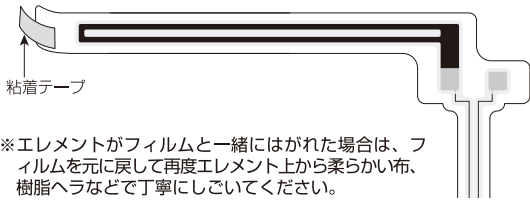
フィルムアンテナ貼り付け

4. フィルムアンテナの構成とフィセパレーターのはがし方

- ●フィルムアンテナは３層に分かれています。
- ●エレメントは透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。
- ●エレメントの銅色部が給電端子です。

5. フィルムをフロントウインドウに貼り付ける

- ●セパレーターは４つに別れています。L①のタグを持ってセパレーターをはがし、貼り付け許容範囲に給電端子部分からエレメントをフロントウィンドウに貼り付けます。
- ●L②のタグを持ってアースパターン部のセパレーターをはがし、アースパターン部の上から指で軽くこすってください。
- ●L③のタグを持ってエレメント部のセパレーターをはがし、エレメント部の上から指で軽くこすってください。
- ●セパレーターをはがし終えたら給電端子部とアースパターン部とエレメント部がフロントウィンドウに充分に貼り付くように、透明フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてガラス面に貼り付けてください。（加圧が不足すると透明フィルムをはがす際に、エレメントがはがれたり、断線する恐れがあります。）

6. フィルムをはがす

- ●粘着テープなどを使用して透明フィルムの端に貼り付けます。
- ●粘着テープを持ってエレメントがウィンドウに貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧に透明フィルムをはがしていきます。

※エレメントがフィルムと一緒にはがれた場合は、フィルムを元に戻して再度エレメント上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。

7. アンプをエレメントに貼り付ける

- ●アンプ部の裏面にある、はくり紙をはがします。
- ●アンプ部にある２つの突起部A・Bとエレメントのa・bが重なるように、またアンプ部の側面Cとエレメントのラインcと重なるようにアンプ部を置きます。

フィルムアンテナ貼り付け

8. コードの配線

- ●アンテナコードはコードクランパーで固定しながら配線し、アンテナコードの配線は下図を参考にしてください。

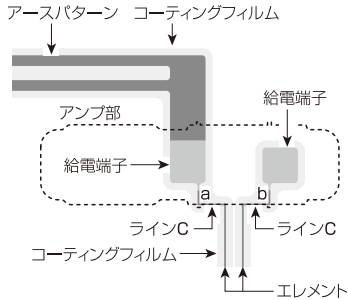
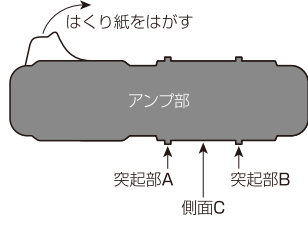
※安全な視野が確保できるようにアンテナコードを配線してください。

リモコン受光部の取り付け

1. 取り付け上のご注意

- ●リモコン受光部を貼り付ける場所の汚れをきれいにふき取ってからリモコン受光部を貼り付けてください。
- ●リモコン受光部ウラ面のシートをはがして、センターコンソール（下図のA部・B部・C部）などの平らな面に貼り付けてください。

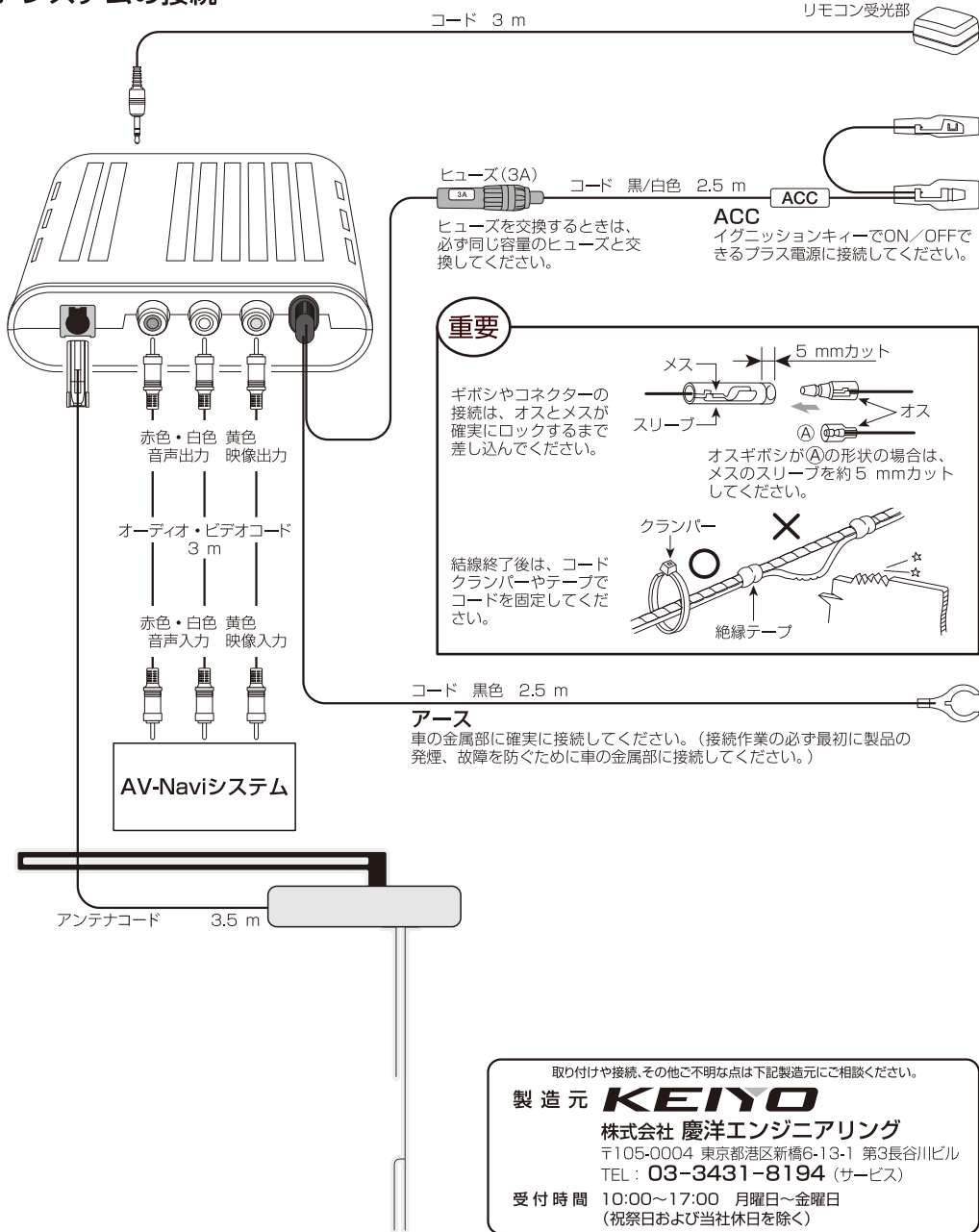
⚠ 必ずお守りください

- ●直射日光の当たるダッシュボードの上には、絶対に取り付けないでください。
- ●リモコンの信号がとどく範囲内に取り付けてください。

本体の取り付け

1. 取り付け上のご注意

- ●本体のウラ側の平らな面２箇所に付属のマジックテープを貼り付ける。
- ●グローブボックスの下センターコンソール側面の平らな面で、運転の妨げにならない場所などに貼り付けます。

接続の方法

1. システムの接続

取り付けや接続、その他ご不明な点は下記製造元にご相談ください。

製造元 KEIYO

株式会社 慶洋エンジニアリング

〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル

TEL：03-3431-8194（サービス）

受付時間　10:00～17:00　月曜日～金曜日
（祝祭日および当社休日を除く）